令和７年度「信頼される学校であるための行動計画」

三重県立宇治山田商業高等学校

ありたい教職員像
〇高いコンプライアンス意識を有し、信頼ある教育活動を実践する教職員
〇目指す学校像の実現に向け、生徒の多様な力を伸長するため、絶えざる自己改革に努力を惜しまない教職員
〇生徒が減少する南勢地域において本校の魅力のさらなる特色化に向け、情報共有と相互支援を行う教職員

１．　個々の教職員の規範意識の確立

・職員が生徒と適度な距離を保ち、信頼される適切な関係を築く。
・各学期に１回チェックリストを活用した振り返りを実施し、不祥事根絶のための意識を向上する。
・全教職員の危機意識をより向上するため、職員研修を１回以上、オフサイトミーティングを２回以上開催する。
・管理職は県内外で発生した不祥事やコンプライアンスに係る問題について、職員会議や打ち合わせで注意喚起を行う。

２．　学校全体の服務規律の確保

・生徒の人権と人格の尊重を学ぶ研修を実施し、全職員がカウンセリングマインドをもって生徒に寄り添い、職員による体罰や不適切な指導を許さない体制をつくる。
・本校の「育みたい生徒像」を常に念頭に置いて生徒一人ひとりに向き合い、職員同士が情報共有を図りながら、適切な指導につなげる。
・各分掌・学年団から出された「ヒヤリ・ハット」事例について、再発防止のための改善策を作成し徹底する。

３．　風通しの良い、働きやすい職場づくり

・職員が日常、感じている事（仕事内容や悩んだり、困ったりしていることなど）を気軽に言いあえる雰囲気を作り、互いに支えあえる環境をつくる。
・管理職は、面談以外でも積極的に職員に声をかけ、年休取得状況、表情等の変化に注意して個々の職員の心身状態の把握に努める。
・分掌・学年団の反省と改善点を次年度に反映する。
・学校改善委員会を設け、課題等の改善に継続的に取り組む。